

美里のいしばし



築造から一六九年間豪雨や

熊本地震にも耐え抜いた

霊台橋

はじめに

美里町石橋愛好会設立について

平成二七年四月一〇日、「美里町文化交流センターひびき」にて石橋を守り地域貢献を目指す有志の皆さんにて総会を開催し、「美里町石橋愛好会」を設立いたしました。今年の七月三十一日現在、会員数は四三名となっております。

美里町には、「霊台橋」をはじめ江戸時代末期から明治初期に架設されたものが数多く現存しています。これらの石橋は、全国に分布する石橋の中でも価値ある歴史的な文化、土木遺産です。

この貴重な遺産を守り、その価値を多くの方々と再認識し、地域おこしの一環となることを願い、活動してまいりたいと考えています。

多くの皆さまのご参加ご協力をお願い致します。

名称

「美里町石橋愛好会」

目的

国の重要文化財「霊台橋」をはじめ、町内の文化遺産である石橋群を守り、歴史や価値を再認識すると共に、地域おこし等に最大限活用することを目的とする。

活動骨子

- ◆美里町の石橋群の維持管理
- ◆「美里町の石橋の価値」の周知活動
- ◆石橋を活用した文化活動等

役員

会長 一村一博
副会長 篠原啓輔
茂見英樹

年会費
会員数

一〇〇〇円

四三名（七月三十一日現在）

お詫び

当初一月二四日の第一回総会の予定が大雪のため大幅に遅れました。事務局の手違いもあり四月、やっと総会が終わったところに地震に見舞われ、被害調査が終わった途端、今度は水害でした。

ほぼ被害調査も終わりましたが、年間の活動予定も大幅に遅れています。今後はスピード感を持って前進したいと思っております。どうかご理解とご協力をお願い致します。

紙面紹介

- ◎2頁 熊本地震による石橋状況写真
- ◎3頁 集中豪雨後の石橋状況写真
- ◎4頁 美里町の石橋実態調査報告

今後の活動計画
石橋の情報の提供について

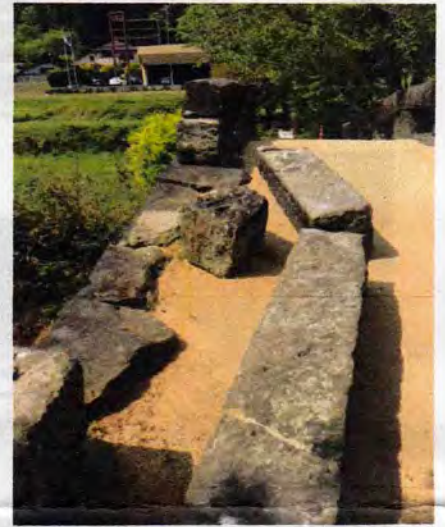
熊本地震後の美里町石橋被災状況



二俣福良渡(小筵)町指定
岸の壁石崩落。輪石は残存。
通行禁止。



馬門橋(今)町指定
欄干損壊、落下。輪石は残存。
通行禁止。



大窪橋(大窪)町指定
欄干落下。輪石・壁石本体には
大きな被害は見られず。通行禁止



霊台橋(清水)国指定
輪石・壁石健在。本体に大きな被害は見られず。
欄干の動いた形跡があり。

美里町以外の石橋被害状況



洞宮橋(山鹿市菊鹿町)
(熊本県内最古)
無傷。県北(菊鹿)は震度小の影響か。



八勢橋(上益城郡御船町)
6月21日見た時はすでにビニールシートがかぶ
せてあり、壁石から上部が大きく崩落している
模様

6月20日集中豪雨後の石橋被災状況



下由来橋(美里町川越)無指定
流木が引っかかっている。輪石のみ辛うじて残っている。



西の鶴橋(美里町甲佐平)無指定
流木が流れた後在り。上流に土砂が迫っている。下流域は、土砂崩壊。



豪雨前



豪雨後

井竿橋(美里町甲佐平)無指定

石橋完全流失。流木が流れた形跡在り。下流域田んぼに大量の土砂流入あり。



白岩橋(美里町甲佐平)無指定
流木が引っかかっている。輪石・壁石は、かろうじて残っている。



霊台橋(美里町清水)国指定
付帯施設が崖からの多量の水によって崩れ去る。霊台橋へも水が流れる。

美里町石橋実態調査報告

◆ 指定文化財に関してはその管理はされています。

(国指定) 霊台橋。

(県指定) 雄亀滝橋。

(町指定) 二俣橋、二俣福良渡橋、小筵橋、年祢橋、馬門橋、大窪橋、舞鹿野田橋。

◆ しかしその他の石橋は殆どほったらかしの状態です。地元の方々による美化作業などで辛うじてその存在を見ることが出来るものがほとんどです。標柱などは傷みがひどく、橋名すら読めない物も多くありました。

梅雨を前に美化作業を進める中、熊本地震が発生し、水害に追い打ちをかけられました。

崩壊を心配していました橋のうち、井竿橋は流出し、白岩橋、下用來橋は、大破、西の鶴橋は周辺が損壊、桑野橋は上流部の輪石の崩落が見られました。

その他本体の損害はなくても周辺の護岸等に一部被害が見られます。

やがて200年近くもその姿を見せてくれている石橋もここ10年で10基ほどが無くなっています。その殆どが水害による流出です。その原因として考えられるのは、

- ① 短時間の異常な降水量
- ② 人工林の太木化による山全体の保水能力の低下
- ③ 倒木が石橋に引っ掛かることにより、橋がダムになり水圧で一気に流失などが考えられます。

地元の思いで造られた石橋は、現存する数のおそらく倍はあったと思われます。

このままでは、美里町の石橋も風前の灯火です。「美里町石橋愛好会」に課せられたものの大きさを痛感します。

白岩橋(美里町甲佐平)



会報創刊にあたって

会長 一村一博

美里町には、国の重要文化財「霊台橋」をはじめ多くの古い石橋が現存しています。町のいたるところに「石橋の町」の表示を良く見かけます。多くの町民の皆さんが、そのことを以前から認識されています。ところが残念なことには、それを地域おこしに活用されていないのが現状ではないでしょうか。全国の多くの自治体は、地域おこしの目玉がなくて困っているのが現状です。

会員様はじめ多くの方々のご協力をお願いするものです。

会報創刊にあたって

副会長 篠原啓輔

美里町には先人たちが残した文化・遺産が多く残されています。その中でも霊台橋をはじめとした大小の「石橋」が数多くあり、長い年月を経た今でも私たちの生活の中にその存在感を示しています。これらの貴重な財産を、未来へとしっかりと引き継いでいかなければならないと思っています。

今回「美里町石橋愛好会」の発足を機会に、その思いを強くしたところであります。今後とも、この会の活動に対し皆様のご協力ご指導をよろしくお願いいたします。

会報創刊にあたって

副会長 茂見英樹

会を発足するにあたって美里町の石橋群の調査を数名で行いました。その中で感じるのは先人達の橋に対する「想い」「苦悩」です。どうやって生活の道をつなぐのか。木造橋の失敗は歴史が物語っています。こうした中、たどり着いたのが石橋なのだろうと思います。

今では忘れ去られた様に山の奥に佇む石橋の多い中、こういう素晴らしい財産を、美里町の元氣につながる活動として活かしていければと思います。

皆様のご協力を是非とも、お願い致します。

行事予定

○ 定期美化作業

毎月第三火曜日 13:00 ~ 17:00

集合場所 文化交流センターひびき

服装など準備するもの

長そでシャツ、長ズボン、長靴またはズック、タオル、帽子、飲み物等

※カマなどはこちらで準備します。

○ 被害石橋視察および説明会

後日連絡いたします。

連絡先

一村携帯 090-4990-1339

篠原携帯 090-2586-0195

茂見携帯 090-3079-1601

美里町の石橋情報をお寄せ下さい。

◆ 美化作業や修繕が必要な箇所

◆ 以前こんな場所に石橋があった。

◆ 石橋への想い、石橋にまつわる話・歴史など

連絡先 美里町永富一六五八

ichimura@cc.kcn-tv.ne.jp
一村一博 まで